

科目名（担当教員）	ゼミナールⅠⅡ（ 小島理沙 ）
テーマ	容器包装や食品ロスといった身近な「廃棄物」をテーマに、いかに「発生抑制」をしていくか、イベント出演などを通して、仕掛学などを応用し、実践的に学びます。
履修条件	やる気と熱意のある人 環境（空気や水、地面）は綺麗であって欲しいと思える人
テキスト・参考文献	松村真宏 「仕掛学」 稲村光郎 「ごみと日本人」

◇ゼミ研究内容

廃棄物は、3R政策が有名ですが、日本はリサイクルは進展しましたが、リデュース（発生抑制）は、なかなかすすめることができていません。構造的な問題もありますが、国土面積の小さい日本が今後持続可能で綺麗な街を保つためにも最終処分場の残余年数の延命が必須です。それを実現するためには、なんとかごみを減らさなければなりません。答えのない世界ですから、学生の皆さんの知恵やアイデアを投入し、試行錯誤をしながら、良い方法を探求していきます。

◇ゼミ運営方法（ゼミ修了時に求める学生の理解・達成度）

グループワークや、チームプレイをしながら、学生の自主性、自立性を重視します。ごみ問題や調査方法といった専門的な分析手法などは、講義等で補足しますが、事例検索、アイデアワークショップ、テストマーケティングなどは、自らの頭で考え、グループで議論しながらすすめていきます。また、各種イベントへの参加や市場調査などを実施したり、容器包装の計測等を行いながら、広く一般的に情報発信なども行います。

◇ゼミ運営計画

	運営内容・ゼミナール特別活動	参考文献・課題など
ゼミナールⅠ (1回生後期)	基本的な専門知識を学んだり、グループワークをやりながら、円滑に議論を進める方法を体験していきます。	仕掛学を読んで、アイデアを沢山出す訓練をしていきます。
ゼミナールⅡ (2回生前期)	6月の環境イベントに向けて、準備をしていきます。イベントでは伝える内容、方法、効果測定、分析方法など様々な段取りをして望みます。遠方地の場合は、1泊2日の研修旅行にするなど、充実したゼミライフを過ごせるよう企画します。 イベント終了後は、成果を科学的に分析していきます。それらの内容を卒論に向けて、それぞれが文章を書き始めていきます。	市場調査の専門知識、実践方法などを学びます。
ゼミナールⅢ (2回生後期)	個人別に卒論を完成させ、またゼミ発表会に向けた訓練を実施します。 容器包装や食品ロスに関する調査分析した内容をHP(NPOごみじゃぱん)にUPしていったりなど、研究成果を広く発信していきます。	発表を含めた情報発信のデザイン、広報PR(パブリックリレーションズ)を学びます。

◇その他コメント（自己紹介とゼミ生への要望など）

小島ゼミは、座学やワークショップだけでなく、現場へのリサーチ、アクションも含めたアクションリサーチ型のゼミになりますので、問題を認識する力、解決に向けたクリエイティビティ、チームでの協力実践、コミュニケーション力が訓練されます。人とコミュニケーションをとることが好きな人、一方、コミュニケーションが苦手だと認識し、克服したいと思っている人、実践的な学びをしたい人、アイデアを実践してみたい人、議論が好きな人など、多様な学生を募集します。

履修条件としては、①多様な人の意見を尊重することができる人 ②責任感をもってゼミに参加できる人の2点とします。具体的には、多様な人の意見を批判はしても否定はしない人、遅刻や欠席は、必ず連絡ができる人といったことです。

最後に、雰囲気を作るのは自分たち次第と思って、なるべく「にこにこ」「わくわく」できる人でいてください。明るくて、しっかりしていて、かつ楽しそう！これが小島ゼミのモットーです。一緒に楽しみましょう!!